

# 世界で一番美しい図書館

——オーストリア国立図書館——

ÖSTERREICHISCHE NATIONALBIBLIOTHEK

中央図書館整理第一課 寺尾 隆



音楽の都ウィーン市のほぼ中央、栄華を誇ったハプスブルク家の王宮 (Hofburg) の中に、この図書館はひっそりと佇んでいる。

レオポルト 1 世 (在位1658~1705年) 時代の1683年に着工されたが完成を見ず、マリア・テレジア (マリー・アントワネットの母) の父カール 6 世 (在位1711~1740年) が再建に着手し、壮麗な宮廷図書館を完成させた。

この図書館は、建築家フィッシャー・フォン・エルラッハ親子の代表作であり、その内部の開架閲覧ホール（約20万冊）は、バロック建築の粋と言われる。



一步図書館内に足を踏み入ると、そこには外界と遮断された、異次元空間が出現する。タイムスリップをしたかの様な錯覚を覚える。



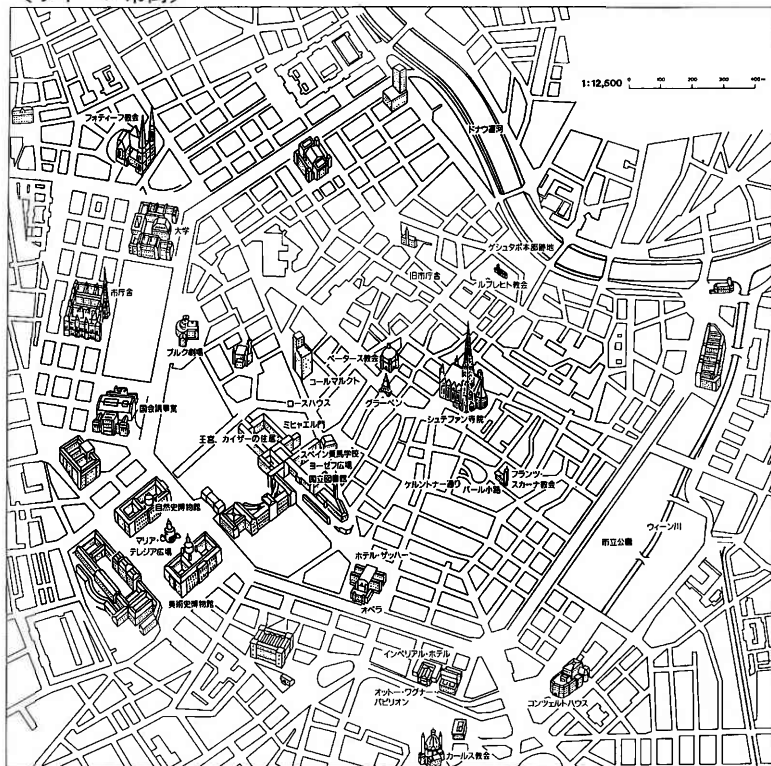
天井には、美しいフレスコ画が描かれ、窓から柔らかな光の束がさしこむ。中央の彫像を取り囲む様に、ずっしりと歴史の重みを感じさせる数多くの書物が、美しい大理石の柱の間で紐解かれる日を待って静かに眠っている。冬の冷えた空気の中で、暫し、時を忘れる。



蔵書約220万冊、3万6千冊の写本を擁する。世界一のパピルス・コレクション（約7万点）や、ベートーベン等の著名な音楽家の直筆楽譜コレクションでも知られているがそれらは、同じく王宮内のアルベルティーナ (Albertina) 美術館の3階に展示室があり、一般に広く公開している。



〔ウィーン市街〕



(田中長徳著「ウィーン古都物語」グラフィック社より)